

平成22年度

卒業論文要旨

「日本一の幸せ者を探せ」

所属ゼミ 村澤康友ゼミ

片山 裕善

研究目的

ヒトの感じる「幸福」というものは、その源泉が極めて曖昧な感情であり、ヒトが幸せを感じる瞬間というのは様々な要素に起因するものである。本稿では統計ソフト `gretl` を用い、**JGSS(2000 年度版)** という実際の大規模全国調査アンケートの結果を利用し、どのようなヒトが幸せを勝ち取っているのか、「日本一の幸せ者」とはどのような人物像なのかに迫りたい。

現在、世界各国で、国の発展尺度として **GDP**、**GNP** が利用されているが、**1972 年**、ブータンのワンチュク国王により国の豊かさを表す指標として、「国民全体の幸福度」を示す国民総幸福量(**Gross National Happiness, GNH**)の考え方が提唱された。同国では現在、国民総幸福量の増加を政策の中心としている。しかしながら、**GNH** の概念に即した同国の政策の内容や方針は曖昧なものであり、根本の問題として、何が国民の幸福度を上げているのかが明確に把握できていないということがある。また、日本においても、「幸福度」が経済学的に捉えられ、その要因となる事象が検討されることは稀であり、まだまだ検証・分析のされる余地がある分野である。

本稿では「日本一の幸せ者」を探る上で、幸せの素になるものを見つけ出すことを目的とする。より幸せになるための指標を見つけ、自己実現に繋げるとともに、「幸福の経済学」という分野の貢献にも役立てたい。

JGSS とは

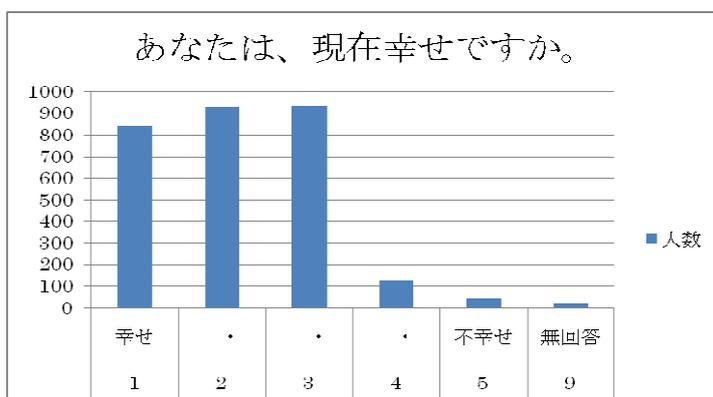
分析方法

具体的には社会調査 JGSS の幸福度に関する質問項目、「あなたは、現在幸せですか。」という質問項目の結果を元にする。上記項目を除く項目の中から、どのような項目が「幸せかどうか」に影響を優位に与えているのかを調べる。以下は質問と質問の変数名、質問の回答に対するデータである。

OP5HAPPZ:幸福度

あなたは、現在幸せですか。

JGSS 調査票質問番号		留:61	留:61	留:41	留 A:37	留:66	留 A:14	留 A:14
コード		2000年	2001年	2002年	2003年	2005年	2006年	2008年
1	幸せ	841	866	855	550	545	657	661
2	・	929	840	948	607	734	720	703
3	・	931	878	949	650	592	604	553
4	・	129	154	162	115	110	109	103
5	不幸せ	41	36	33	29	27	20	25
9	無回答	22	16	6	6	15	14	15
計		2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060



分析方法Ⅱ

ここでは使用を予定している変数名を挙げる。これらの変数と幸福度変数のデータを利用して分析してゆく。

OP5HAPPYZ 幸福度。1～5段階

DMAN 男を1、女を0とするダミー変数

DOMARRY 既婚者を1、それ以外を0とするダミー変数

DSIBETU 離別者と死別者を0、それ以外を1とするダミー変数

TANSIN 家族形態が単身を0、それ以外を1とするダミー変数

SETAISU 現在の世帯人数

AGE20 20歳代を1、それ以外を0とするダミー変数

AGE30 30歳代を1、それ以外を0とするダミー変数

AGE40 40歳代を1、それ以外を0とするダミー変数

AGE50 50歳代を1、それ以外を0とするダミー変数

DKONASI 「現在子供がいる」を1、それ以外を0とするダミー変数

KOKO 最終学歴が高校を1、それ以外を0とするダミー変数

TANDAI 最終学歴が短期大学を1、それ以外を0とするダミー変数

BUNKEI 最終学歴が大学(文系)を1、それ以外を0とするダミー変数

RIKEI 最終学歴が大学(理系)を1、それ以外を0とするダミー変数

IN 最終学歴が大学院を1、それ以外を0とするダミー変数

DOPET 「ペットを飼っている」を1、それ以外を0とするダミー変数

DOCAR 自動車を持っているを1、それ以外を0とするダミー変数

DOSMOKE タバコを吸っているを1、それ以外を0とするダミー変数

FQ5TRIP ひと月当たりの海外旅行回数。1～5段階

SIZE 都市の規模 1～5段階

.

.

etc

分析結果

Model 6: OLS estimates using the 2893 observations 1-2893

Dependent variable: op5happyz

	決定係数 coefficient	std. error	T 値 t-ratio	P 値 p-value
const	1.09137	0.116757	9.347	1.74E-020 ***
domarry	0.228155	0.0274766	8.304	1.53E-016 ***
fq5trip	0.206345	0.0231031	8.932	7.31E-019 ***
size	0.00134991	0.0310200	0.04352	0.9653

Mean of dependent variable = 2.21604

Standard deviation of dep. var. = 1.11571

Sum of squared residuals = 3428.97

Standard error of the regression = 1.08945

Unadjusted R-squared = 0.04750

Adjusted R-squared (決定係数)= 0.04651

F-statistic (3, 2889) = 48.0248 (p-value < 0.00001)

Log-likelihood = -4350.85

Akaike information criterion (AIC) = 8709.69

Schwarz Bayesian criterion (BIC) = 8733.57

Hannan-Quinn criterion (HQC) = 8718.3

Excluding the constant, p-value was highest for variable 10 (size)